

# 上出来のシーズンイン!

# 神村・立山 二百で 24秒70 号外



## 目指すは、二百で表彰台!

2008年度第4回鹿児島県陸上競技記録会は5月4日、鹿児島市の県立鴨池陸上競技場であった。

二百では少年女子Aの立山紀恵、神村学園高が24秒70の好タイムで制したほか、少年男子Aの尾上清文(田水中央高)、同Bの中山泰志(甲南高)、少年女子Bの寺地由真(天口明光学園中)、一般女子の永野麻理(鹿大)がそれぞれ二百を制し、第3回大会の百とあわせて二冠に輝いた。高校男子千六百リレーは鹿児島商が、同女子は鹿児島女がそれぞれ制した。政純一郎

全国での活躍が期待される立山紀恵(神村学園高)は記録会で百12秒07、二百24秒70をマークし、今季のシーズンインとしては上出来の結果を残した。

この日の二百は、スタートからリナーにかけては持ち味を發揮して前に出た。前半は良かったけど、後半失速してしまいました。風も良かったからもうちょっといい記録を出したかったけど、と苦笑い。指導する宮崎博史コーチはこの時期で百で12秒二百で24秒台が出た

「これは素直に評価したい」と話す。昨秋は九州新人全日本ユースなどで大きくブレイクして、百で11秒96、二百で24秒52の自己ベスト記録を残した。この記録は今季の全国ラニングでも十傑に入る。5月10日の国際グランプリ(大阪)ではジュニアの四百リレーのメンバーにも選ばれている。足さばきや、切り替えしが格段に良くなった(宮崎コーチ)ことが昨秋、冬季トレーニングを通しての成長点だ。

県内では久々に百で11秒台、二百で24秒台を出せる選手であり、百では11秒78の県高校記録を更新したいと意気込む。県記録保持者で北京五輪をを目指す瀬戸口渚(ハテックサブライ)と同じ場所で練習している。なので、上を目指す意識も高い。宮崎コーチは記録会を通じて試合感を取り戻し、これから取り組む課題が見つかった。インナーハートは百、二百の両方で表彰台に上がる選手を目指して欲しいと大きな期待を寄せていた。

